

バークシャー種肥育後期用配合飼料の穀類全量飼料用米代替における栄養バランスによる日増体量及び背脂肪厚の推定

【1 成果概要】

- (1) 肥育後期用配合飼料中の穀類及びそうこう類を飼料用米（玄米・粳米）で代替する場合、栄養比〔(TDN-CP)/CP〕を指標として、日増体量（DG）及び背脂肪厚を高い精度で推定できます（図1、図2）。
- (2) DGが750～830g/日かつ背脂肪が3.0～3.3cmとなるCP及びTDNの組み合わせを表に示しました（表）。

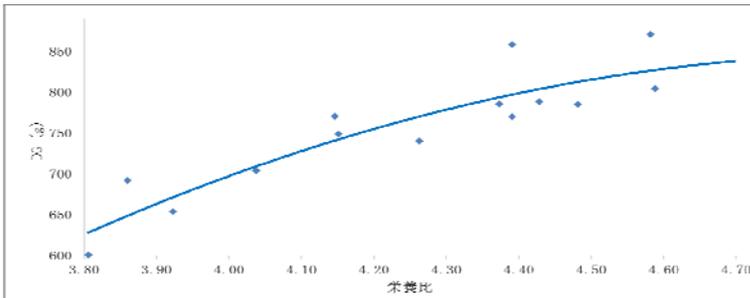


図1 栄養比とDGの相関

($y = -173.94x^2 + 1714.8x - 3379.1$ $r^2 = 0.82$)

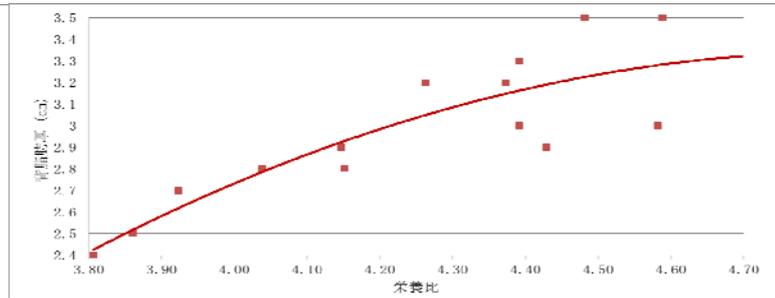


図2 栄養比と背脂肪厚の相関

($y = -0.8294x^2 + 8.0591x - 16.234$ $r^2 = 0.74$)

表 DG750～830g/日かつ背脂肪が3.0～3.3cmとなるCP及びTDNの組み合わせ

(上段：DG、下段：背脂肪厚、単位：g/日、cm)

TDN \ CP	68	69	70	71	72	73	74	75	76
12.5	806 3.2	818 3.2	828 3.3	— —	— —	— —	— —	— —	— —
13	762 3.0	780 3.1	796 3.2	809 3.2	821 3.3	830 3.3	— —	— —	— —
13.5	— —	— —	751 3.0	769 3.0	785 3.1	800 3.2	812 3.2	823 3.3	— —
14	— —	— —	— —	— —	— —	758 3.0	775 3.1	790 3.1	804 3.2

※飼料用米最大75%まで利用することができ、粳米割合を増やすことでTDNを低下させ、大豆粕等高蛋白飼料を増減することでCPを調整ができます。

【2 留意事項】

- (1) 飼料用米は県内産を利用し、破砕機0.2mmのローラー幅で破砕して混合しています。
- (2) 栄養比は(TDN-CP)/CPで算出しています。
- (3) 試験は、単飼・不断給餌・自由飲水の条件下で実施し、概ね70kgを超えた時点で開始し、概ね110kgで出荷しています。
- (4) 飼料コストを考慮して、玄米及び粳米の配合割合を決める必要があります。